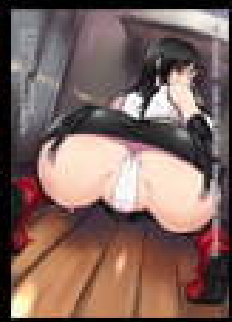
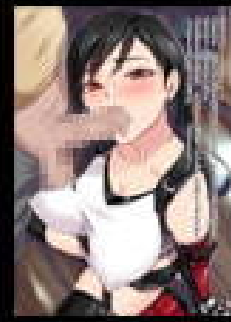
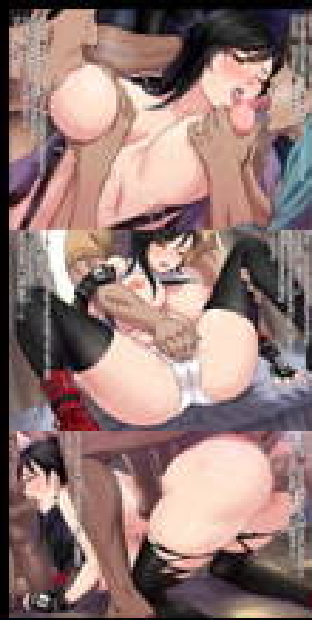


爆乳看板娘のスラムエッチ



「ハアツ！」 七番街スラムセブンスヘブンの看板娘のティファちゃんは  
今日もスラムの為にモンスターや悪党と戦ってくれている。

「うん、ティファちゃんは戦っている姿も魅力的だな」はちきれんばかりに突き出した  
おっぱいが豪快に揺れて、パンチラ全開なのもいとわず豪快な蹴りを繰り出す  
ティファ。



「お疲れさまティファちゃん！ いつもすまないねえ」  
「はあ・・はあ・・ あっ店長さん。 いいえこれもスラムの為ですから」

「疲れてるところすまないんだけどウチの店の洗面所のバルブの調子が悪いんだ  
ちよつと見てくれないかな？」  
「まあそれは大変ですね 今すぐお伺いします！」



「えつとここですね

ああバルブが緩んでるわ

でもこれならすぐ直せそうです」

「ああそうかい ありがとう」  
「うーん なんともいい眺めだなあ」



「えっ！ 店長？ いきなり何をされるんですか？」

「いや ティファちゃんのお尻があんまり魅力的なんで思わず・・・」

「は 恥ずかしい・・・ わ わたしもう帰ります！」



「うーん このもっちりとしてスベスベした手触りがたまらん・・・」

「あついやっ 触らないで！」

「あれ なんか股間の辺りに染みができてるよティファアちゃん」

「そ それはさつき汗かいたから・・・」

「そうなの？ ところでティファアちゃん最近何かと入り用なことが多いみたいだね？」

「ティファアちゃんさえ良ければ協力するよ」

「.....」



「ふっんん…んぐぐ…」

「そうそう □で吸いながら舌で舐め回すんだよ どうだい私のチ○ポは？」

「ほっほっへもおおひいです」

「そうだろうそうだろう これからこれがティファちゃんの中に入るんだから  
しっかりとご奉仕するんだよ」

「ふぐううう…」



「ほうら もうここがこんなになってるよ」  
「はあんっだ だめ・・」  
「クリトリスもこんなに勃ってパンツ越しでも  
はっきりわかるぐらいだよ」  
「い・いやぁ」

「ここをこんなにグショグショにしてティファちゃんは  
エッチな娘だねえ」  
「そ そんなことない・・」  
「もうすっかり準備万端だね・・」



「あんっあんっあんっあああつ」  
「すごいよティファちゃん」初めてなのに  
こんな感じちゃってティファちゃんは  
本当はすごくエッチな娘なんだっただね」

「ち 違うっか 感じてなんか はあううっ  
お 奥まで届いてるっ や だめこれすぎすぎるうう！」



「うううう出るー!」

「えっ いやああ 中はだめええー!」

「ふううっ ティファちゃんのオ○ン○が気持ち

良すぎて中にだしちやっただよ!」

「ああああ そんな 中にいっぱい出されちゃって

るよう・・・!」

「ちゃんとチ○ポに残った精液もお掃除するんだよ」

「はい・・・」

「ティファちゃんのオ○ンヨが良すぎて何発も中に出してしまったよ」

「ティファちゃんも何回もイってたね 愛液と汗でシーツが

ビチョビチョだよ」





「あん アッコから精液が溢れてきちゃった・・・」  
「セックスがこんなにいりものなんて知らなかったな・・・」

「こんな格好・・はずかしいです」  
「どつてもきれいだよ それにみんなに格闘術を教えしてくれる約束だよ  
この恰好のほうが体の動きがよく観察できていいと思うんだ」

「で・でも・」  
「わかつてるよ」  
「は・はい・」

興奮してもう乳首がシコってきてるよ

みんな待ってるから早く行こうね





「ゴフツッ！」  
「ヒューツッ ティファアちゃんのみぞおちにクリーンヒットー！」  
「ホラホラどうしたのティファアちゃんまだまだ大勢相手してもらわないといけななんだぜー」



「オボオツ！」

「なんだあ？ ケツと口から精液漏らしたぞ！」

「オイオイ店長とよろしくやりまくってたのかよ！ はしたねえ淫乱女だなあティファちゃんは！」

「ちよっ いやっ離してー!」

「なんだよ店長とはやっても俺たちとはできねえってか?」

「あんっ おっぱい乱暴にしないでッ」

「すげえ爆乳だぜえ! 乳首もこんなにピンピンにして

ほんとはやりたくてたままないんだろお?」

「みんなで慰めてやるから安心しな!」

「い いやあッ」





「んんほおおっ！」

「オラオラオラッ おらしっかりケツ振ってご奉仕しな！」

「マ○コもケツもいい具合に締まって最高だぜえ！」

「前からやってみたいと思ってたけどやっぱいい女だな  
ティファちゃん！」



「ひぐううっ!」

「おほっ潮まで吹いてそんなに気持ちいいのティファちゃん?」

「こんなに大勢にやられまくって感じてるなんて

マジで好きものだなあ」

「ほらほらまだまだ後が残ってんだ一生懸命オチ○ポ

し○くんだせえ!」

「んほおおおおおっ!」



「うおおおっいくぜっ！中にたっぷりぶちまけてやる！」  
「ぶいぶいおおおっ！」

「またイってるぜこの女！  
のティファちゃん？」  
「ひぎいいいいっ！」


そんなに気持ち良かった





「ああっあはっあがっあがっ！」  
「ああんっ オ○ンコとお尻にぶっといオ○ンポ入ってる〜！」  
「どうだいティファちゃん俺たちのオチ○ポの具合は」  
「中でゴリゴリ擦れてしゅごいのー！」

「こんなにぶっといの両穴にぶち込まれてよがってるなんて  
ティファちゃんほんとにスケベだねえ！」  
「はああっそうですティファはチ○ポ突っ込まれてよがりまくる  
淫乱メスブタです〜！」



「あああつダメー！ まらつまらイクううううッ  
ティファイキますううーッ！」

「うおおおっ出るー！」  
「オラアはらめえ淫乱女！」  
「あひやああああっ ああっオ○ンコとお尻に精子いっぱい  
出てるぅぅぅ〜 ああっティファ幸せ〜」

「ああっまた

またイクぅぅぅぅぅぅッ！」



「あら クラウドじゃない？久しぶりね元気にしてた？」  
「エッこれ？ うん私も色々大変なんだ でもスラムの為にすごい頑張ってるのよ」  
「毎日スラムのみんなに新鮮なミルクも配ってるんだから」

「よかったらクラウドも手伝ってくれない？」